

# 施設の安全評価セルフチェックのご案内

－施設の安全ランクがわかる－

**100の評価項目で事故防止活動を評価します**  
**事故防止活動上の課題をアドバイスします**  
**課題改善のための資料を提供します**



## 施設の安全評価・セルフチェックシステム 「安全」はケアサービスの基本

100問の設問に答えて事故防止体制を自己評価してみよう！

使用方法：右のスタートボタンを押して、各ページの設問に○×でお答え下さい。最終ページ

スタート

100の設問  
 に答えるだけで

No	設問	回答
1	施設長をトップとして役職者で構成する、事故防止のための組織(事故防止委員会など)を作っている	×
2	ヒヤリハット活動に取り組んで、ケース検討を通じて原因を究明し、早期に対策を講じている	○
3	車椅子を2台押すなど事故につながるルール違反をなくすため、厳しいマネジメントを行っている	×
4	安全に関する業務手順についてはマニュアル化を行い、全職員に徹底を図っている	×
5	ヒヤリハットや事故の情報とこれらの再発防止策の情報は、同じ職場の職員に迅速に伝わっている	○
6	事故防止策や事故発生時の対処に関する大切な文書は、施設長名で通知して徹底している	○
7	新規採用時に事故防止の研修を行い、その後も継続して研修を行っている	○
8	設備や用具などの保守点検のルールを作り、修理なども迅速に行っている	×
9	少なくとも1年に1回は「施設内危険箇所点検」を行い、危険箇所の改善をおこなっている	○
10	外部からの講師を招いて事故防止の研修を行っている	○
11	入所前面談に介護現場のリーダーなどが同行し、生活状況や生活動作方法を把握している	×
12	全ての利用者の「職業歴・生活歴・家族構成や家族との関係」などの生活情報を収集している	○
13	新規入所者に対して、担当者を決めて1～2週間程度日常生活動作上のリスクを把握している	×
14	入所前後の時期には家族から過去の事故やヒヤリハットの情報を直接ヒヤリングしている	×
15	入所前に、利用者の事故のリスクについて家族に説明し、事故防止についての協力を依頼している	○
16	認知症利用者の落ち着ける生活環境作りのために、生活用品や愛着品を多く居室に配置している	×
17	認知症の利用者のBPSDの状況とその対処について、ケアマネや家族から情報収集している	×

## 総合評価と個別課題がわかる

### 貴施設の安全評価表

#### ■総合評価

**評価**  
 基本的な事故防止活動はされているのですが、活動が形式的になっているかもしれません。現場介護職の動機付けをていねいに行い、現場の活動をもう一度見直すことが必要かもしれません。また、ケアの質と事故防止のバランスも忘れずに下さい。

#### ■個別項目評価

No	項目	小計
1	事故防止体制	8
2	アセスメント	7
3	転倒・転落と認知症利用者への対処	6
4	排泄の介助	6
5	入浴の介助	6
6	食事の介助	5
7	行方不明への対処	6
8	感染症・誤飲・異食などの対策	4

#### ■個別課題の評価

<b>トップの事故防止マネジメント</b> 特に問題はありません。	<input type="checkbox"/>
<b>介護手順や介助方法</b> 基本的な介護の手順や介助方法に問題があるかもしれません。業務手順の安全性を再検証すると同時に安全な介護技術を徹底して下さい。	<input type="checkbox"/>
<b>事故防止の基本活動</b> 事故防止の基本活動が定着していないようです。まず、ルール違反の防止対策や危険発見活動などの基本活動に徹底して取り組んで下さい。	<input type="checkbox"/>
<b>職員教育の体制</b> 職員教育の体制が弱いのではないのでしょうか？義務化された年2回の職員研修はもちろん、外部講師	<input type="checkbox"/>
<b>職員間の連携</b> 職員間の連携に問題があるリスクなどを情報共有が	<input type="checkbox"/>
<b>家族への対応</b> 特に問題はありません。	<input type="checkbox"/>
<b>設備や建物の安全性</b>	<input type="checkbox"/>

#### ■改善のアドバイスと資料

個別課題への  
 アドバイスが  
 表示される

アドバイス資料には**リスクマネジメント情報室**会員専用のものがありますのでご了承ください。リスクマネジメント情報室のお申し込みは裏面へ！

#### 「トップの事故防止マネジメント」に問題がある施設へのアドバイス

「一生懸命事故防止活動に取り組んでいるが事故が減らない」という声を介護現場でよく聞きます。職員はヒヤリハットシートをたくさん書いて提出し、事故防止委員会を開いて事故やヒヤリハットの集計をしているのに成果が上がらないのです。事故防止活動の進め方(マネジメント)を少し変えてみたらどうでしょうか？今の活動を少し変えるだけで、半分の労力で2倍の成果が生まれるかもしれません。

リスクマネジメントレポートNo.52～53「事故防止活動の方法を見直そう」を参考にして下さい。事故防止活動の見直し方が分かります。  
 リスクマネジメント情報室コラ <http://www.anzen-kaigo.com/libra/library.html>  
 ム参照

動画セミナー「事故防止活動の管理者マネジメント」をご視聴下さい。事故防止活動の見直しのヒントが見つかります。  
 YouTube抜粋版 <https://youtu.be/8uhph81TrIk>

新版「安全な介護」(プリコラージュ刊)の、第1部を参考にして下さい。事故防止活動の見直しの具体策が分かります。

施設の安全評価セルフチェックの価格・申し込み方法は

# 施設の安全評価セルフチェックのご案内

－施設の安全ランクがわかる－

## 施設の安全評価 セルフチェックシステム 申し込み方法

価格

**無料！！！！**

申し込み方法

**お申し込みは弊社ホームページから**

■申し込み手順

●ホームページの問い合わせフォームの「問い合わせ区分」で「施設の安全評価セルフチェック」を選択の上、所定事項を入力して送信して下さい

[http://www.anzen-kaigo.com/form\\_m/form.html](http://www.anzen-kaigo.com/form_m/form.html)

●申し込み後10日以内にご記入いただいたメールアドレスに、セルフチェックシステムを送付いたします

■お問い合わせ

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

[mail:soudan@nanasha.co.jp](mailto:soudan@nanasha.co.jp)

TEL:03-5995-2275



## リスクマネジメント情報室について

リスクマネジメント情報室は有料の「介護リスクマネジメント情報サイト」です

### リスクマネジメント情報室のサービス

①個別相談サービス

事故やトラブルで困った時、山田滋が直接相談にお答えいたします

②ニュース配信サービス（毎月）

安全な介護にゆーず・相談員のトラブル対策ニュース・動画ニュースをメールでお届けします

③マニュアル&ツールライブラリ

事故防止マニュアルや家族向けの案内などのツールがいつでもダウンロードできます

④ニュース&コラムライブラリ

5種類のニュースやコラム（400件）がいつでもダウンロードできます

●詳しくはサイトをご確認ください

<http://www.anzen-kaigo.com/index35.html>



リスクマネジメント情報室のお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

[mail:soudan@nanasha.co.jp](mailto:soudan@nanasha.co.jp) TEL:03-5995-2275